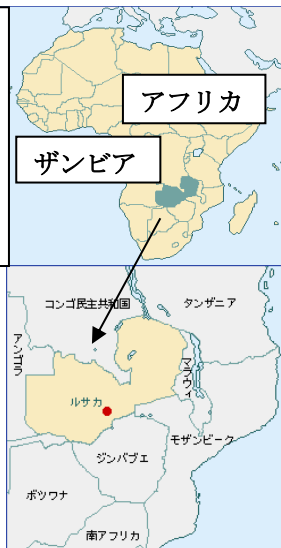


認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 145 号 (R5.9.7)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 9月、同時複数台風による長雨と酷暑の8月が過ぎましたが、いまもまた同じような状況ですね。今年の8月は記録的にも異常気象とのことですが、各地で大きな被害が出ないことを祈るばかりです。また9月1日は関東大震災から100年目の防災の日でした、皆様どうぞご自愛ください。

さて、ORMZ ニュース第145号では、ヘルスポスト設置の進捗状況（順調に進んでいます）、巡回診療活動の報告、アフリカ医療研究会の皆さんの活動参加報告などをお伝えします。どうぞご覧ください。

皆様には引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

会の経過報告等

・8月18日、宮崎西ロータリークラブの例会の場で、約100名の会員の皆様に ORMZ の活動について紹介を行いました。プログラム委員の方がホームページをご覧になり、私達の活動に興味を持っていただきお招きいただきました。30分間、会の成り立ちから現在の活動、ヘルスポスト建設などについてお話しをさせていただきました。



*会長と記念撮影（寄附をいただきました）

現地の状況、事務所だより（山本ひとみ）

【ヘルスポスト設置の進捗状況】

建設は順調に進んでいます。この一ヶ月で、スタッフハウスにおいては建物の外壁ができ、窓枠も取り付けられてきました。ヘルスポスト本体も床のコンクリートが張られ、外壁のブロックが積み重ねられています。写真をご覧ください。今後も具体的な建設の様子等、進捗状況をお知らせします。



左：スタッフハウス、輪郭が出来てきました



右：スタッフハウス窓枠が付けられています



左：ヘルスポスト基礎が整地されました



右：ヘルスポストの外壁が積み上げられています



左：現場スタッフのランチの様子

右：屋根の柱を準備しています（塗装しています）

【巡回診療】

8月2日 ルアノ

- ・診療数 144 名、マラリア陽性数 24 名中 1 名 妊産婦検診 30 名 道中の診察 1 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、胃腸炎、他の消化器疾患、皮膚疾患
- ・重症例：なし
- ・他の医療機関への紹介：なし
- ・5 歳未満の小児 予防接種の種類と接種した人数：MRV(はしか)：10、OPV(経口ポリオ)：18、IPV(ポリオ)：31、PCV(肺炎)：28、ROTA(ロタウイルス胃腸炎)：19、DPT(三種混合)：28、BCG:10
- ・臨月の女性。出産を促す伝統的な薬を服用しており、いつ出産が始まるかという状態。チペンビに搬送。チペンビ到着後、まっすぐ分娩室に入った。(後日談：女性は 8 月 2 日 21 時ごろ女の子の双子を出産。女性は双子と知らなかったそうです。)
- ・高橋康太郎先生(平戸市民病院、国境を越えた地域医療支援機構)が同行



*診療を待つ人々の列、右から
受付
妊産婦検診
ファミリープランニング

8月9日 サンダラ

- ・診療数 73 名、マラリア陽性数 16 名中 2 名、 妊産婦検診 11 名、 道中の診察 5 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、消化器疾患、う歯(口腔内疾患含む)、皮膚疾患
- ・重症例：2 歳の女兒。マラリア陽性でマラリア薬 Coartem(コアルテム、アルテスネイト製剤とルメファトゥリン製剤の合剤)を服用しているが、回復せずマラリア陽性のまま。貧血の症状も出ており、チペンビヘルスセンターに搬送。
- ・他の医療機関への紹介：上記女兒 1 名
- ・5 歳未満の小児 予防接種の種類と接種した人数：MRV(はしか)：8、OPV(経口ポリオ)：13、IPV(ポリオ)：1、PCV(肺炎)：11、DPT(三種混合)：11、BCG:13、VitaminA(ビタミンA)：17
- ・胸に 3 つ塊(しこり)があり、痛みを感じるという女性。10 ヶ月の赤ん坊の授乳中。薬を処方し、来月再訪するよう伝えた。
- ・チペンビヘルスセンターに HIV 検査キットがなく HIV 検査は実施できなかった。「伯母が HIV で亡くなったので、子供を検査してもらいたい」という女性と、ほかにもう 1 名検査を希望する方がいた。ヘルスセンターから提供してもらえない場合に備え、検査キットを準備しておく必要性を感じた。

・Kaputi Health Post が稼働開始。場所は Chipembi Health Centre から 6.5Km、Four ways から 5.5Km の位置。Four ways 周辺の人々はクリニックへのアクセスが少し良くなった。

8月16日 リテタ

- ・診療数 86 名、マラリア陽性数 33 名中 3 名、 妊産婦検診 5 名、 道中の診察 0 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、皮膚疾患、胃腸炎、結膜炎など
- ・重症例：なし
- ・他の医療機関への紹介：1 名(脚が腫れている男児)
- ・5 歳未満の小児 予防接種の種類と接種した人数：OPV(経口ポリオ)：5、PCV(肺炎)：4、DPT (三種混合)：4、ROTA(ロタウイルス胃腸炎)：1、VitaminA(ビタミンA)：6
- ・中絶したいと来た女性。理由は 7 ヶ月の赤子がいるから、次の子の出産は早すぎる、と。こちらでは中絶はしない、妊娠したくないなら何故ファミリープランニングに来なかったのか尋ねると、7 月に来た時にはすでに妊娠していたという。中絶を考えるのではなく、今後妊産婦検診に来るよう話をしたが、納得しない様子のまま帰ってしまった。農村部では、わざと流産するために伝統的薬や農薬を服用したりすると聞く。女性がそんな行為をしないことを望む。
- ・リテタ巡回診療で毎回苦労するのが受付。多くの再来患者さんたちが、自分のカルテノートの番号を持ってこない。自分の番号も覚えていない。ご本人のノートを探すため、1 冊 1 冊名前を確認する必要があり、時間がかかる。新たに番号の札を渡し、番号をなくさないよう伝えている。が、番号をなくす、持ってこない。複数の女性が「掃除のときになくなった」と話した。何か良い策はないか考え中である。



*ヤギさんの家がありました

8月30日 ニャンカンガ (23 日の予定だったが地区の希望で変更)

- ・診療数 124 名、マラリア陽性数 31 名中 2 名 妊産婦検診 8 名 道中の診察 0 名
- ・主な訴え、疾患等：気道感染症、腰痛などからだの痛み、皮膚疾患、胃腸炎、う歯 (口腔内疾患を含む)
- ・重症例：なし
- ・他の医療機関への紹介：なし
- ・5 歳未満の小児 予防接種の種類と接種した人数：MRV(はしか)：7、OPV(経口ポリオ)：22、PCV(肺炎)：22、ROTA(ロタウイルス胃腸炎)：22、DPT (三種混合)：22、BCG：0
- ・早産の男児。鼻中隔欠損症のため、Beit CURE Hospital of Zambia に行き、今月再度行くことになっているようだ。1 歳 4 ヶ月で体重 6.9Kg. HEPS の支援継続。体は小さいが、立って歩き始めており、成長は順調なようだ。
- ・不足となった薬：Amoxyl syrup, Amoxicillin tablets, PCM, Chlorin。 *自転車であつた人がいた
PCM, ORS は通常より多く準備していたため、処方通り渡すことはできた。 *帰りの荷台には野菜が



*診療を終え帰る女性たち
(背中に赤ちゃんを背負っている)

活動に参加した学生さんからのご報告

お世話になっております。慶應義塾大学公認学生団体アフリカ医療研究会にて副代表を務めております、薬学部3年の黒川将と申します。

私たちは、先日（2023/08/11）、ルアノ地区並びに、コミュニティヘルスワーカーさんのご自宅、また道中のチペンピヘルスセンターを見学させていただきました。

理事長の日高様、現地事務所長の山本様、スタッフの皆様、この場を借りて感謝申し上げます。

私たちは、本渡航の目的の1つとして、「ザンビア共和国における人々の生活水準と社会問題の実態を把握すること」を掲げており、貴法人の活動や、首都のルサカ以外の様子を見学することができ、とても勉強になりました。

特に印象に残ったことは、ルアノ地区までの道路状況、現地での生活についてです。

メールのやり取りにて再三、道路状況が悪い旨をお聞きしておりますが、実際にルサカ市内の事務所から1時間もしないうちに、道路の舗装がなくなり、さらに車を走らせるとbushの中を掻き分けるように進んで行ったことは、想像を超えるものでした。住民の方々のお宅を訪問させていただく機会や直接お話を伺う機会をいただき、とても勉強になりました。住民の方はバイクを持っている方もいる一方、そうでない方の移動手段は全て徒歩。ルサカ市内の医療機関を受診することになった際にも40kmの道のりを歩くとのことでした。日本の首都圏では到底考えられない状況に衝撃を受けました。

今後も継続的にザンビアの方々と共に活動できるよう、私達も会としてできることを精一杯やっていきたいと考えております。貴法人の益々のご活躍をお祈りして、現地同行記録とさせていただきます。（慶應義塾大学公認学生団体 アフリカ医療研究会 黒川将）



賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・2023 事業年（1月から12月）も9月となりました。賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をよろしく申し上げます。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附（賛助会費含む）をいただいた際には翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp または hidaka1956@gmail.com）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351
加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九 口座記号：01720-9 口座番号：0126351
加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称 トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンスルカイ

令和5年（2023年）も多くの皆様のご支援を心からお願い申し上げます。